

## 事業の名称：子どもと一緒に備える防災

団体名	三刀屋地区まちづくり協議会	事業費	200,000円
代表者	会長 福間 正道	補助金交付額	200,000円

### 現状と課題

三刀屋地区では、自主防災組織の見直しを行っているが、広域なことと、大きな災害が少ないため、防災計画が進みにくく、地域によって防災意識にムラがあるのが現状。

### 事業の目的

『もしものとき』のために備えができていないか、命が助かる行動ができるかを、子ども達と学ぶことで長期に渡り意識付けでき、自主防災組織の担い手としての役割も期待できるため。

### 実施内容

#### ◇実施状況

□夏休み学習会・子どもの防災教室

『もしものとき、ぼくたち わたしたちにできること』

①起震車、消火器、煙体験 ②災害が起きる仕組みについて学ぶ

③身近にある防災用品について ④

□防災に関する啓発（チラシ配布等）

□中高生と考える防災

学校で取り組む地域探究に、三刀屋地区の防災について課題提起。



#### ◇成果と課題

参加した子ども達は、普段過ごしている場所が災害時どんな現象が起こりうるのかを学び、その備えについても考えることで、より三刀屋地区まちづくり協議会の活動について知ることができる機会となった。また、三刀屋地区の未来を担う子どもたちを対象として実施した防災研修では、上級生が下級生をサポートしたり、地域の大人や保護者とも防災について話をすることで、持ち出し品をそろえた家庭があるなど、こどもの取組みをきっかけに地域全体へ「防災の輪」が広がり、今後の地域を担う子どもや保護者の繋がりづくりを醸成する取組みへとつながった。

子ども達の活動の様子のお知らせや、防災用品点検の日に合わせて防災用品チェック表を配布したことにより、備蓄品の点検を行うきっかけとなった。日付が切れた非常食の交換が出来た。

中高生との取り組みは十分ではなかったが、「警戒レベル」「自助・共助・公助」「ローリングストック」など、防災に関わる用語を『知らない』ということがわかり、今後の取り組み方や周知方法に工夫が必要であると感じた。今後、三刀屋高校2年生の地域探究授業とコラボして作成した防災のチラシを活用し、活動に生かしていく予定。

家庭でも防災事業を継続して取り組むことが必要であると実感したので、次年度以降『日常に寄り添ったカタチの防災の工夫』をテーマに取り組んでいきたい。

